

一般社団法人日本鉱物科学会  
平成28年第3回定例理事会 議事録

1. 招集通知年月日：平成29年（2017年）7月13日
2. 開催年月日及び時刻：平成29年（2017年）8月12日(土)  
13時00分～15時00分
3. 開催場所：東北大学理学部理学合同A棟4階402室  
日本鉱物科学会事務局
4. 理事総数および定数：総数 32名，定足数 17名
5. 出席理事数：23名（\*印の22名はWEB会議参加）

出席：土山 明\*，榎並正樹\*，大藤弘明\*，鍵 裕之\*，貴治康夫\*，  
角替敬昭\*，永島真理子\*，濱本拓志\*，平島崇男\*，森下知晃\*，  
井上 徹\*，黒澤正紀\*，小暮敏博\*，下林典正\*，長瀬敏郎\*，  
中村美千彦\*，安東淳一\*，大和田正明\*，川本竜彦\*，永井隆哉\*，  
伴 雅雄\*，三河内岳\*，宮脇律郎\*，

6. 欠席理事数：9名 佐藤 努，宮島 宏，阿部なつ江，  
上原誠一郎，高澤栄一，土谷信高，  
河上哲生，鈴木正哉，吉朝 朗

7. 出席監事：小山内康人

8. オブザーバー：（幹事，各委員長，報告者）

出席：栗林貴弘会計幹事，大谷栄治連絡担当委員\*  
欠席：片山郁夫Elements幹事，奥山康子教育普及委員会委員長，  
坂野靖行博物館委員会委員長，奥村聡研究発表優秀賞選考  
委員会委員長

9. 議長概要

定足数17名を超える23名の理事が出席（22名はWEB会議出席）し，定款30条により理事会が成立したことを確認したのち，土山明会長が議長となり第3回理事会を開始した。今回の理事会は多くの理事に出席していただくよう，ZOOM MeetingというWEB会議ソフトを利用して開催した。

まず初めに，会議に先立ち，会長より書記として栗林会計幹事が推薦された。

1. 報告事項（平成29年5月20日以降の業務報告）

1. 会長・副会長の職務執行報告(土山会長・榎並副会長)

各業務は各担当者に一任していることから，会長，副会長から個別の報告は特にないので，以下の順に沿って，各担当者に報告いただいた。

2. 会員報告（佐藤会員幹事・理事）報告代理中村庶務幹事・理事

平成28年第2回定例理事会以降，5月20日以降の会員動静は，一般会員1名のご逝去，退会者が12名(内訳：シニア会員1名，一般会員7名，学生会員4名)，賛助会員が2件退会した。また，「会員資格の喪失」対象者として2年会費未納者22名がリストアップされたが，関係各位により連絡をすることで，年内まで保留することとなった。

3. 広報報告（伴広報幹事・理事）

平成29年5月20日以降の広報活動について以下の報告委があった。1) 会員へのML送信を実施した（5/20以降4件）。2) 連合大会の日本鉱物科学会ブース展示対応を委員交代で行った。① 学会誌GKK, JMPSの紹介と配布，② 学会会員執筆書籍展示紹介，③ 学会員に配布されている“Elements”の紹介と配布，④ 「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスターの紹介と配布，⑤ 寄贈試料の展示（期間中追加展示1件があった）。

4. 渉外報告（川本渉外幹事・理事）

「本学会会員執筆書籍の展示」について，JpGU期間中に以下の書籍が持ち込み寄贈され31冊となった。

31冊目寄贈書籍：月はぼくらの宇宙港 佐伯和人 新日本出版社

5. 和文誌編集報告（長瀬和文誌幹事・理事）

GKKの編集状況について以下の報告があった。

- 1) 編集状況報告：印刷状況：46巻3号（9月頃発行予定）その他の記事：日本鉱物科学会の国石選定事業と国石「ひすい」8/10早期公開，受理論文1編印刷準備中
- 2) 現在査読中論文：4編（依頼原稿1編含）

6. 英文誌編集報告（平島英文誌幹事・理事）

JMPSの編集状況について以下の報告があった。

- 1) 投稿数状況：6月5編，7月9編，2017JpGU大会講演を対象にLetterを募集：申込10件 投稿6件，海外からの投稿7編(中国，イラン，スリランカ，トルコ)
- 2) 編集状況：早期公開中3編，受理論文3編，査読中：20編 返却中：5編 Reject:2編
- 3) 発行状況：112巻3号(6月号)(7月1日公開)，112巻4号(8月号) 印刷中，112巻5号(10月号)ひすい特集号)
- 4) 2016 JMPS Impact Factor: 0.409 (2015⇒0.648 2014⇒0.742 2013⇒0.656，2012⇒0.589)

7. 庶務報告（中村庶務幹事・理事）

平成28年度第2回評議員会以降，以下について報告があった。

- 1) 29/6/8：平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞受賞候補者の学会内推薦募集をした。結果推薦はなかった。

- 2) 29/6/21 理事会のWEB Meeting開催のために，ZOOM利用の第1回目テスト行った。

- 3) 29/7/27 日本鉱物科学会選出2018年JpGUプログラム委員として下記の方に継続してお願いした。(正) 齊藤 哲，(副) 門馬綱一
- 4) その他：理事会開催準備，連合への対応，後援・共催・協賛対応，会員への連絡など。

8. 行事・年会報告（黒澤行事幹事・理事）

- 1) 2017年年会開催状況について：6月19日(月)9時から7月10日(月)17時 まで年会講演申込サイトにて申し込みを受け付け，申込数は198件で，そのうち発表優秀賞エントリー27件となった。第2回理事会の承認決定に従い2017年年会では，最終日14日の講演終了後，気楽に参加できるクロージングセレモニーを実施して「研究発表優秀賞」の授賞式を行うことが決定した。また，9月15日開催の巡検「愛媛県西条市 市之川鉱山（後援：日本地質学会）」にも申し込み多数で実施することとなった。今年からプログラム編成に当学会用にカスタマイズしたWEBシステムを利用し，スムーズな編成が行われた。8/10に日程表を年会HPに公開し

たことが報告された。

2) 2019年年会開催地の件について：小山内康人会員から、九州大学・伊都キャンパスにて2019年年会を開催すること、運営委員長候補者(案)を小山内康人会員とすることの承諾を得たことが報告され、ついで第8号議案「年会開催地の承認(土山会長)」にて会長から審議ご提案をお願いした。

#### 9. 地惑連合報告(大谷連絡担当委員)

・2017年JpGUの報告がなされ、来年以降に関しては、AGU、EGU、AOGSなどとジョイントセッションを継続すること、アジアの国との連携を検討し、2019年には、台湾の地球科学連合とのジョイントセッションを検討していること、2020年には、第二回のAGUとのジョイントは、横浜の建設の遅れを懸念して幕張でおこなうことに決定。

・8月10日より代議員の立候補・推薦が開始。鉱物科学関係者の意見を反映させるために、立候補・推薦および関係者に投票をお願いします。代議員投票スケジュールは以下の通り。選挙公示：8月1日(火)、候補者(立候補・推薦)受付：月10日(木)～9月11日(月)、候補者リスト公開：9月22日(金)、投票受付期間：10月2日(月)～11月1日(水)、開票結果公開：11月6日(月)詳細はWEBを参照：<http://www.jpгу.org/2017election/>

#### 10. 学術会議報告(大谷学術会議連携会員)

・8月6日に地球惑星科学委員会企画分科会、地球惑星科学委員会総会が行われ、23期の報告と24期への申し合わせ事項が議論された。7月24日に人材育成分科会がメール審議にて行われ、地学地理の教科書の用語の統一についての提言が承認された。

#### 11. その他

##### 国石ひすい出版についての報告

(中村庶務幹事・理事、土山会長・日本の石選定WG委員長)

中村庶務幹事から、第2回理事会で紹介された国石出版について、その後関係者が出版社と複数回面談し8月4日に庶務に企画書案の提出があり、これを受け、手続きに従い8月9日にメールにて幹事に「その他の出版物」の企画立案についての賛否を検討したが、理事会議案として幹事会から諮ることには至らず、第2回理事会での審議を見送ることになった経緯が報告された。今回は関係者代表の土山日本の石選定WG委員長から幹事会に提出された企画書案の説明があり、それに対して質問を受けた。その結果、次回の平成29年度第1回理事会に幹事会からの企画として審議提案できるよう、理事会では、出版社に詳細な出版契約内容の作成を依頼すること、幹事会にそれを提出することをWG委員会に要請した。

#### II. 審議事項

##### 第1号議案 新入会承認の件

(佐藤幹事・理事：代理中村庶務幹事・理事)

以下の一般会員4名、学生会員25名の入会申込書が回覧され、異議なく入会が承認された。

一般会員-4名-  
学生会員-25名-

また、資格停止会員1名が未納会費を全納して停止が解除された。

##### 第2号議案 名誉会員推薦委員会答申と審議

(吉朝委員長・理事：代理平島委員)

会員から推薦された下記4名の名誉会員候補者について名誉会

員推薦委員会での審議の結果、全員一致で内規5項の基準を満たしていると理事会に答申され、これを受け、理事会審議の結果、名誉会員として承認された。

名誉会員候補者：石原舜三会員、千葉とき子氏、加藤祐三氏、  
山中高光会員

##### 第3号議案 細則等検討委員会答申と承認(大和田委員長・理事)

第2回理事会に提案し継続審議となっていた標記の件、その後、細則等検討委員会でも再度取り纏め、7月13日に各理事宛メールで改定案を送った答申結果について審議され、承認された。

(1) 運営細則 (2) 会費規定 (3) 各委員会内規など  
(4) 各ガイドライン (5) 選挙内規

##### 第4号議案 役員選挙内規の一部改定についての審議

(大和田委員長・理事)

下記選挙内規の第5項(3)の「2名以上を副会長候補者として選定する」という「副会長候補の人数」について、任意団体での選挙のたびに選出に難航していた状況から、前委員長から提案があり継続審議となっていた件、重要な案件なので、今回は以下の2案を答申することで、審議は9月12日の第1回理事会に継続審議することが承認された。

(1案) 副会長候補者は1名以上とする。  
(2案) 副会長は投票で選ばず、会長の指名とする。

##### 第5号議案 平成29年度修正収支予算案の審議(栗林会計幹事)

第2回理事会で承認された予算案は、7月31日の決算前の予算で未定のところが多く、7月の決算後に修正予算案を立て8月12日の第3回理事会に提出し最終承認をいただくことが承認されていたので、今回繰越金など明確な数字を計上した修正収支予算案を説明し、これについて審議がなされ、承認された。(今後の平成28年度定時総会議事録参照)

##### 第6号議案 総会議事及び資料の審議

(平成28年度決算及び事業報告)

(土山会長、小山内監事、栗林会計幹事)

定時総会資料「平成28年度決算及び事業報告」の事業報告について、土山会長から説明があり、決算書については栗林会計幹事から詳細な説明\*があり、小山内監事から8月12日午前中に実施した会計監査の報告があった。

これを受けて、平成29年9月12日(火)に愛媛大学城北キャンパス南加記念ホールにて定時総会を開催すること、「平成28年度決算及び事業報告」を定時総会に提出することが承認された。(今後の平成28年度定時総会議事録参照)

\*本日提出した決算書は会計処理日程の都合で法人税の決算が含まれない「仮決算書」であるため、現状では定時総会に提出することができないとの説明があった。そのため、正式な決算書が完成後「理事会の決議の省略」を開催して、理事全員の承認と監事の同意を得るための手続きをすること、承認された決算書を定時総会に提出することについて説明があり、承認された。

##### 第7号議案 総会での電磁的方法による議決権行使の承認

(中村庶務幹事・理事)

中村庶務幹事から、定款の「書面による議決権の行使」の他、電磁的方法も取り入れて行使可能にすることを説明があり、審議の結果承認された。

**第8号議案** 年会開催地の承認（土山会長）

黒澤行事幹事から報告があった以下の2017年年会開催地及び運営委員候補者について審議され、承認された。

- ・2019年年会を九州大学・伊都キャンパスにて開催すること。
- ・運営委員長候補者を小山内康人会員(案)とすること。

**第9号議案** 2018年理事会開催日の審議（中村庶務幹事・理事）

中村庶務幹事から提案のあった平成29年度年度第2回理事会開催日程2018年5月19日(土) 場所：幕張・東京近郊について審議され承認された。また、平成29年度年度第3回理事会開催可能期間案(8月18日から9月3日の間)も紹介された。今後年会開催地運営委員会が年会開催日を検討する際は、監査、第3回理事会の開催が総会開催日の20日以上前に開催しなければならないことを考慮して、できるだけ年会開催を9月下旬に設定するように依頼した。

**その他**

IMA分科会の件について大谷IMA分科会委員長から経緯の報告があり、8月18日までに対応がなされることが報告された。日本鉱物科学会として将来検討委員会にて継続審議することとなっている。

**10. 閉会**

以上の議事を終え、15時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

平成29年12月14日

会長 土山 明 印

副会長 榎並正樹 印

監事 小山内康人 印

(配布時捺印省略)

(